製薬協

資料３－２

# 令和６年度
# 革新的医薬品･医療機器･再生医療等製品創出のための官民対話

2024年11月21日

日本製薬工業協会
副会長　宮柱 明日香

# 製薬産業を取り巻く環境認識

製薬協

## 創薬力強化の加速化

- 創薬力構想会議が設置、日本の創薬力向上に向けた議論が開始
- 創薬エコシステムサミットでの宣言
  - 日本が世界有数の創薬の地に
  - 医薬品産業を成長を担う基幹産業
- 新しい資本主義の重点施策の一つに

↓

**政府の強力なコミット**

## 2024年度制度改革

- 薬価制度改革により、薬剤費抑制からイノベーション評価へ大きく転換
- 薬事制度の見直しにより、グローバル水準の治験・薬事環境の実現へ

↓

**日本市場の魅力向上、国内外製薬企業の日本国内での製品開発マインドが前向きに**

**我が国に、**
**かつてないイノベーション推進の流れができ始めた**

# 創薬力強化に向けて

製薬協

## 製薬協の取組

■ **産学が協働で研究を推進する場**

産学連携コンソーシアムの設立

■ **アカデミアの研究への産業視点の導入**

AMED-FLuX*へのアドバイザー登録

■ **創薬を担う人材の育成**

生物統計家、バイオ医薬品製造人材

## 政府への要望

■ **アカデミア研究の実用化促進のためにAMEDを強化**

基礎研究の振興と、実用化研究の強化を両立できる運用・体制への整備

■ **日本を創薬の場とするための基盤整備**

治験環境、バイオ製造、データ利活用

**産学官が一体となって世界と繋がる**
**創薬エコシステムを構築する**



*AMEDが支援するアカデミアの研究に対して、製薬企業の研究者が実用化に向けて助言する取組

# 日本の医薬品市場のさらなる魅力向上に向けて

製薬協

## 製薬協の取組

- 皆保険制度の持続性（メリハリ）を踏まえたイノベーション評価のあり方の検討と提案
- ドラッグラグ・ロス解消に資する薬事・薬価制度に関する検討と提案
- 薬事・薬価制度の見直しに関する効果検証およびドラッグラグ・ロス解消に向けた各企業の行動変容の促進

## 政府への要望

- グローバル基準の薬事制度設計
- イノベーションの評価
  新たな価値評価の仕組み
- 中間年改定の廃止
- 費用対効果評価の適切な運用

**環境が大きく変化してきている今、**
**諸制度を見直す事が必要**

# 新政権への期待

製薬協

**製薬産業が成長産業、基幹産業であり続けるために、**
**“イノベーション創出政策”と“薬価政策”を国家戦略として**
**一貫性をもって継続的に策定・実行していただきたい**

イノベーション創出政策

薬価政策